

## 理科の要点・原点 8

### 8. 人のたんじょう

#### 8-1 人の生命のたんじょう

##### 【言葉とまとめ】

女性の体内でつくられた**卵**（卵子）と、男性の体内でつくられた**精子**が結びつくことを、**受精**といいます。受精すると、人の生命がたんじょうして、**受精卵**は成長を始めます。受精卵は、女性の体内にある**子宮**の中で子どもに育ってから、うまれてきます。

##### 【問題】

人の子どもは、母親の子宮の中でどのように育って、うまれてくるのだろうか。

	約4週	約8週	約16週	約24週	約36週
からだのようす	心ぞうが動き始める	目や耳ができる。手やあしの形がはっきりしてきて、からだを動かし始める。	からだの形や顔のようすが、はっきりしてくる。女性か男性かが区別できる。	心ぞうの動きが活発になり、からだを回転させて、よく動くようになる。	子宮の中で回転できないぐらいに、大きくなる。
身長			22 cm	35 cm	45 cm
体重	0.01g	1g	140g	800g	2700g

##### 【言葉とようす】 母親の子宮の中のようす

##### へそのお

子どもは、へそのおで、たいばんとつながっている。子どもは、へそのおを通して母親から養分などをとり入れ、いらなくなった物を返す。

##### たいばん

子宮のかべにあり、母親から運ばれてきた 養分と、子どもから運ばれてきたいらなくなった物を交かんする。

##### 羊水（ようすい）

子宮の中にいる子どもを囲んでいる液体で、外部からの力をやわらげ、子どもを守るはたらきをしている。子どもは羊水の中にうかんだような状態になっていて、子宮の中で手やあしを動かすことができる。